

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第3号

果樹

発行日 平成28年5月26日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「http://i-agri.net/agri/」 携帯電話からは「http://i-agri.net/agri/i/」

- ◆ りんごの開花は平年より5日前後早くなりました。4月中下旬、5月上旬の低温等により、サビ果、奇形果の発生が懸念されます。果実の状態を確認しましょう。
◆ りんごは、開花中、天候不順だったことから、結実不良の園地・品種の発生が懸念されます。結実の状況を見極め、摘果作業は早めに行いましょう！
◆ ぶどうの生育も平年より5日ほど進んでおり、今後の気温の推移により生育がさらに進むことも考えられます。計画的に開花期前後の管理を進めましょう！
◆ まとまった雨が1週間以上ない場合には、今年植栽した幼木を中心に灌水を行いましょう！

りんご

1 生育概況

県内の定点観測調査結果によると、春先からの気温が平年より高かったため発芽・展葉は平年より1週間前後早く進み、4月下旬まで気温も高かったため、県南部の「ふじ」の開花は平年より1週間ほど早くなりましたが、4月下旬から5月上旬にかけて気温が低く推移したことから盛岡以北では、平年より5日ほど早い開花となりました(表1)。4月12,25日、5月1,2,9日の低温により花器等への障害が見られた地域もあります。

開花期間中は気温が低めで雨の日が多かったことから(図1)、結実への影響が懸念されます。また、4月中下旬、5月上旬の低温による中心果・毛じの欠落がみられており、サビ果、奇形果の発生が懸念されます。

表1 定点観測地点のふじの開花状況

Table with columns: 市町村, 開花始(月/日), 満開期(月/日), 落花期(月/日), 開花期の平年・前年差(±日). Rows include locations like 岩手町一方井, 盛岡市三ツ割, etc., and a summary row for 県平均(参考).

2 摘果

(1) 結実状況と摘果の進め方

本年は早めの開花となり、開花量も多い傾向があります。一方、開花期間中の天候が不順だったため（図1）、放花昆虫の活動不足による種入り不良、加えて昨年的高温干ばつによる花芽形成不良等による奇形果の発生が懸念されます。そこで、各自の園地状況を確認し、品種構成や労力等に応じた作業スケジュールを立て、計画的に摘果作業を進めましょう。

凍霜害の被害を受けた園地では、被害様相が明らかになり結実を確認してから摘果を実施します。また、結実してもサビ果、不正形果が出るので、予備摘果は多めに残し、仕上げ摘果で良い果形のものを残すようにします。

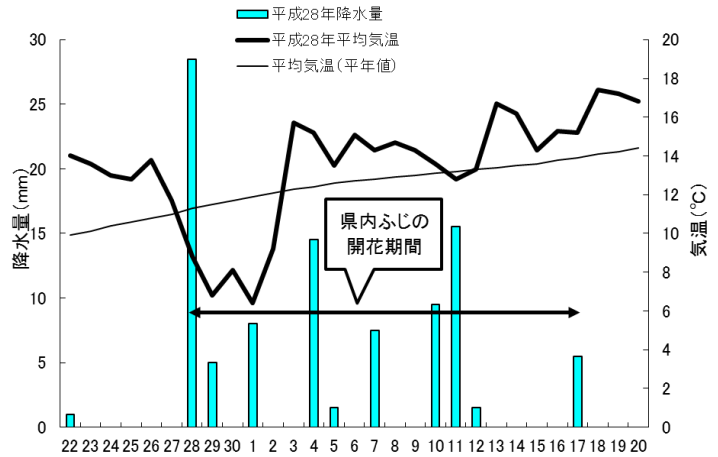


図1 開花期間中(4～5月)の気象経過 (アメダス盛岡観測点)

(2) 摘果の留意点

ア 最初に、1果そう1果とする予備摘果を実施します。その際、不要な果そうの果実を積極的に除いていきます。その後、果実肥大や品質を確認しながら仕上げ摘果を進めます。

イ 摘果終了の目安は表2の通りで、平年より開花期が早いことから、落花30日後は6月上旬中旬になります。作業を計画的に進め、早期摘果を心がけてください。

ウ 三角実や扁平果など、果形の悪い果実、病虫害果、傷果を中心に摘果していきます。

エ 果実は横の発育が良く、果硬が太くて長い正形果を残します。

オ 果台が極端に長いもの(25mm以上)や短いもの(10mm以下)は、斜形果の発生割合が高くなるので、できるだけ摘果します。

表2 品種別作業手順

項目	品 種	摘果完了時期
早期に行う品種	ふじ、王林、きおう、さんさ	落花25日後
後期に行う品種	つがる、ジョナゴールド、紅玉	落花30～35日後

3 病虫害防除

(1) 病虫害防除所の発生現況情報（平成28年4月27日発行）によると、各病虫害とも全般的に平年並から少ない状況ですが、腐らん病や越冬したカメムシ類が確認されています。

腐らん病の発生園地では、病患部を発見次第、切除、削り取るなど処置を施します。

(2) 斑点落葉病や褐斑病、炭疽病は、これから梅雨期に入り、感染が増加する時期ですので、天気予報等を参考に降雨前の予防散布に努めましょう。

ハダニ類は気温の上昇とともに増える可能性があり、既に増加傾向にある園地が散見されます。新梢葉で寄生葉率が30%に達したら、速やかに防除を行ってください。

(3) ヒメボクトウの被害が、県中南部を中心に広がっています。幼虫が枝幹内を食害する難防除害虫です。被害を受けた枝や主枝は、新たな発生源とならないよう早期に除去しましょう。

ぶどう

1 生育概況（表3）

紫波町赤沢の定点観測によると、「キャンベルアーリー」の発芽は4月27日で平年より6日早まりましたが、展葉は5月7日と平年より3日早い程度となっています。これは4月の気温が高かったものの5月上旬の気温が平年並だったためと考えられます。発芽・展葉が早まり、展葉以降、気温が高めで推移したことから、新梢長は調査開始時（5月25日）で平年の153%でのスタートとなり、旺盛な伸び具合となっています。今後も気温は平年並からやや高めに推移との予報から、開花が早まることも考えられます。

これから開花期にかけては管理作業が重なり忙しくなります。計画的に作業を進めましょう。

表3 ぶどう(キャンベルアーリー:短梢)の生育状況(定点観測地点:紫波町)

調査年次	生態(月/日)					5月25日	
	発芽期	展葉期	開花期			新梢長 (cm)	節数 (葉数)
			開花始	満開期	落花期		
本年(H28)	4/27	5/7				39.7	5.4
平 年	5/3	5/10	6/14	6/17	6/21	26.0	5.0
前年(H27)	4/25	4/30	5/30	6/2	6/6	54.0	7.1
平年比	-6	-3				153%	108%
前年比	2	7				74%	76%

2 管理の要点

(1) 新梢の誘引

展葉7～8枚頃に、2回目の芽かき作業に合わせて良く伸びた新梢から誘引します。

(2) 花穂の整理

「キャンベルアーリー」は、開花前に3穂着生している新梢については、1穂落として2穂とし、全体で目標着房数の1～2割増の着生数とします。

「紅伊豆」は、最終房数は1新梢1房とします。摘房の時期は、新梢の強弱を判断して強勢のものほど摘房を遅らせ、着色期を目途に最終着房数とします。

(3) 花振るい防止

ア 「キャンベルアーリー」は、強めの新梢を開花7～4日前に房先5～7枚の葉を残して摘心します。

イ 大粒種で花振るいが強い品種や園地では、メピコートクロリド液剤(フラスター液剤)を使用することにより花振るいを軽減できます。使用する際は、登録内容を十分に確認し、使用時期や希釈倍率に注意して使用してください。

(4) 花穂の整形(図2)

ア 「キャンベルアーリー」では、摘心作業と同時に花穂の副穂を切除し、下端を切り詰めます(尻止め)。また、主穂が長すぎる場合は上段の枝梗を1～2段切除します。

イ 「紅伊豆」などの大粒種は、1～2輪開花し始めた頃から先端部を切り詰めます。「紅伊豆」では副穂を切除し、主穂の基部から4～6段を切除して10～13段程度を残すように整形します。

ウ 「サニールージュ」では開花初期(副穂の開花が始まった頃)に副穂を除去し(長い花穂は上部支梗を1～3段除去)、花穂の長さを概ね7～8cmとします。なお、花穂の先端は切り詰めません。

エ 「シャインマスカット」では開花初期(副穂の開花が始まった頃)に副穂と上部支梗を切除し、花穂の長さを概ね4cmとします。花穂の先端は切り詰めません。また、花穂先端が2に分かれ使えない場合は、第1枝梗を利用します。

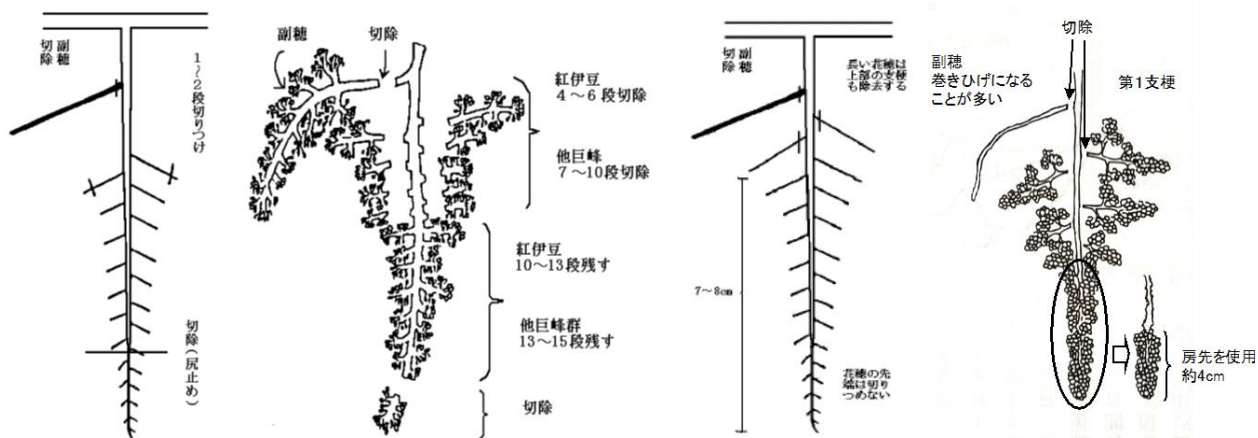


図2 花穂の整形(左からキャンベルアーリー、紅伊豆等大粒種、サニールージュ、シャインマスカット)

(5) ジベレリン処理

無核化のための「安芸クイーン」などの「巨峰系4倍体品種」、「サニールージュ」、「シャインマスカット」へのジベレリン処理は遅れないようにしましょう。また、「シャインマスカット」では、満開予定日の14日前～開花始期までの間にストレプトマイシン液剤（商品名：アグレプト液剤、ストマイ液剤20）を散布するか1回目のジベレリン処理時に併用することで無核化率が向上します。

なお、ジベレリンやストレプトマイシン液剤を使用する際は登録内容を確認してください。

(6) 摘粒

- ・果粒肥大を促し、裂果や病害の誘発を防ぎ、着色向上など品質確保に不可欠な作業です。

果粒の大きさが小豆から大豆くらいの大きさとなる**満開後30日以内に終了するのが目標です**。

- ・1果房当たり「キャンベルアーリー」、「ナイアガラ」は70粒程度、「サニールージュ」は50粒程度とし、二つ折りになる状態を目安に行いますが、縦に1～2列（2列の場合は表側1列と裏側1列）摘粒する方法や段抜きなどの簡便法もあります（図3）。
- ・「紅伊豆」、「ハニーブラック」は1果房当たり30～40粒、「安芸クイーン」は25～30粒、「シャインマスカット」は40～50粒程度とします。最上位に4粒程度着粒させ、下部に行くほど徐々に着粒数を減らし、下端は1粒となるようにします。

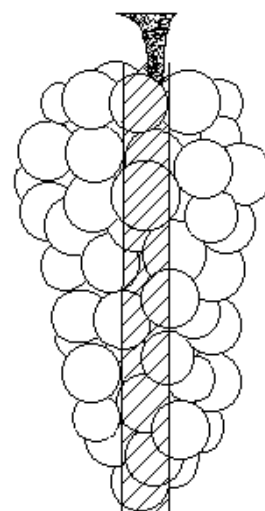


図3 「キャンベルアーリー」、「ナイアガラ」、「サニールージュ」等の摘粒方法
（2列抜く場合は、表と裏を1列ずつ抜く）

3 病虫害防除

- （1）ぶどうの開花期前後は、灰色かび病の発生時期です。生育ステージに合わせて、適期防除に努めましょう。なお、灰色かび病等の薬剤抵抗性回避のため、同一系統薬剤の連用はしないよう注意してください。
- （2）露地栽培で有袋栽培をする場合、防除後、薬剤が乾いたら速やかに袋かけをしましょう。

果樹共通

まとまった雨が1週間以上ない場合には、灌水の実施を検討しましょう。特に幼木は根量が少なく、乾燥の影響を受けやすいため、優先して実施ください。

また、養水分の競合を避けるため草生を短く維持し、樹冠下に刈草やわら等でマルチします。また、畑地灌漑施設の整備が進められている地域では、適宜灌水を実施します。

春の農作業安全月間実施中！

[4月15日
～6月15日]

互いに声かけ 農作業安全

次号は6月30日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

中央農業改良普及センター・地域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。